

# Interview with Partners

日本オラクル株式会社  
常務執行役員 アライアンスビジネス統括本部長

前田 浩氏

ORACLE®

## BladeSymphonyとともに、 フュージョンという新しい発想で、 ユビキタス情報社会に安心を提供する。

BladeSymphonyの「統合」コンセプトを、時代の最先端と評価するオラクル。世界標準技術の融合を目指すオラクルが、日立との協業でどのような価値を共創していくのか、日本オラクル株式会社の前田 浩氏に聞いた。

### BladeSymphonyの「統合」と オラクルの「フュージョン」がつくる お客さま視点のオープンシステム。

オープンシステムが本格化するなかで、さまざまなベンダーの技術が混在されていき、性能が上がる一方、障害原因の複雑化や運用管理コストの増大を招きました。これからの時代は、お客さまの視点に立ったシンプルなオープンシステムが求められています。

こうしたなかで、オラクルは今、アプリケーション製品の開発計画「プロジェクト・フュージョン」を推進しています。さらに、異なるアプリケーションの連携が容易な「Oracle® Fusion Middleware」の上で、アプリケーション間の最適な連携や、オラクルのグリッド技術の中核にしたデータ管理基盤を提供することで、お客さまにワンストップソリューションを提供し、システムの安定稼働をサポートします。

日立さんが開発された統合サービスプラットフォームBladeSymphony。その最大の魅力は、自由に追加できるブレードサーバ、ストレージ、ネットワークというコンピュータシステムに必要なテクノロジーがひとつの筐体に収まり、システムの統合管理が可能なお客さまの視点にあり、シンプルに管理できるBladeSymphonyは、お客さまシステムに安定稼働をもたらす我々の戦略に、ベストマッチングしたプラットフォームなのです。

### グリッドの成功を最大化する スケールアウトが容易な BladeSymphony。

近い将来、ITのデータ管理基盤にグリッド技術が標準的に採用される時代が来ます。μチップなど、新技術の台頭とともに、飛躍的にデータ量は増加し、それらを一気に、安全に処理していくためには、グリッドが必要になってきます。なぜなら、企業のIT投資に限りはあっても、トランザクションには際限がないからです。そこで我々は、グリッドの成功を最大化してくれるハードウェアを求めていました。その時、各ハードウェアデバイスがモジュール化され、スケールアウトが極めて容易なBladeSymphonyがセンセーショナルに登場したのです。

グリッド・コンピューティング時代の基盤になるのは、世界で随一のクラスタ技術「Oracle® Real Application Clusters」。ハードウェアのクラスタ技術を最大限に活かして高速なパフォーマンスを引き出し、障害を未然に防ぐ多重化構造を可能にします。100ノードを超えるクラスタ環境で実証済みのこのソフトウェアが、メインフレーム開発で培われた仮想化技術を持つBladeSymphonyと融合したとき、最小の投資で最高のパフォーマンスを発揮する、真のグリッド・コンピューティングが実現されるでしょう。



前田 浩氏

### ユビキタス情報社会に 安心をお届けする最高のパートナー。

日立さんとの協業の歴史は、1992年にさかのぼります。販売協力を始まり、2000年には、日立ディスクアレイサブシステムSANRISEのマーケティングや開発協力、2003年からは、グローバルスケールのサポート体制を敷いています。BladeSymphonyが登場してからは、BladeSymphonyコンピテンス・センターにおいて、オラクル製品との事前検証・評価を行っています。こうした長いお付き合いのなかで、今年度、オラクルのビジネスに最も貢献していただいた感謝の印として、日立さんに「Oracle Partner of The Year」を受賞いただきました。

オラクルは、フュージョンというコンセプトのもとで、データベースを中心に世界標準のソフトウェア群を束ね、Information Companyとして情報管理能力の一層の強化を図っています。一方、日立さんもuVALUEという事業コンセプトのもとで、ユビキタス情報社会に向けたプラットフォーム開発を進められています。

これから、世の中は大きく変わります。車の自動運転など、ITが私たちの暮らしのセンシティブな部分を支え、その安定稼働が命題となる時代へ。その時、高信頼かつスケラブルなBladeSymphonyのなかで、膨大な情報をシンプルに管理していく。我々は、ユビキタス情報社会に安心をお届けしていく最高のパートナーなのです。

日本オラクル株式会社

www.oracle.co.jp

本社 東京都千代田区紀尾井町4-1

ニューオータニガーデンコート

設立 1985年10月15日

従業員数 1,481名(2005年5月31日現在)

事業内容 ソフトウェアプログラムの販売および  
当該ソフトウェアプログラムの利用を  
支援する各種サービスの提供